

令和6年度秋田市消防職員募集案内



住みやすいこの街



私たちと守りませんか



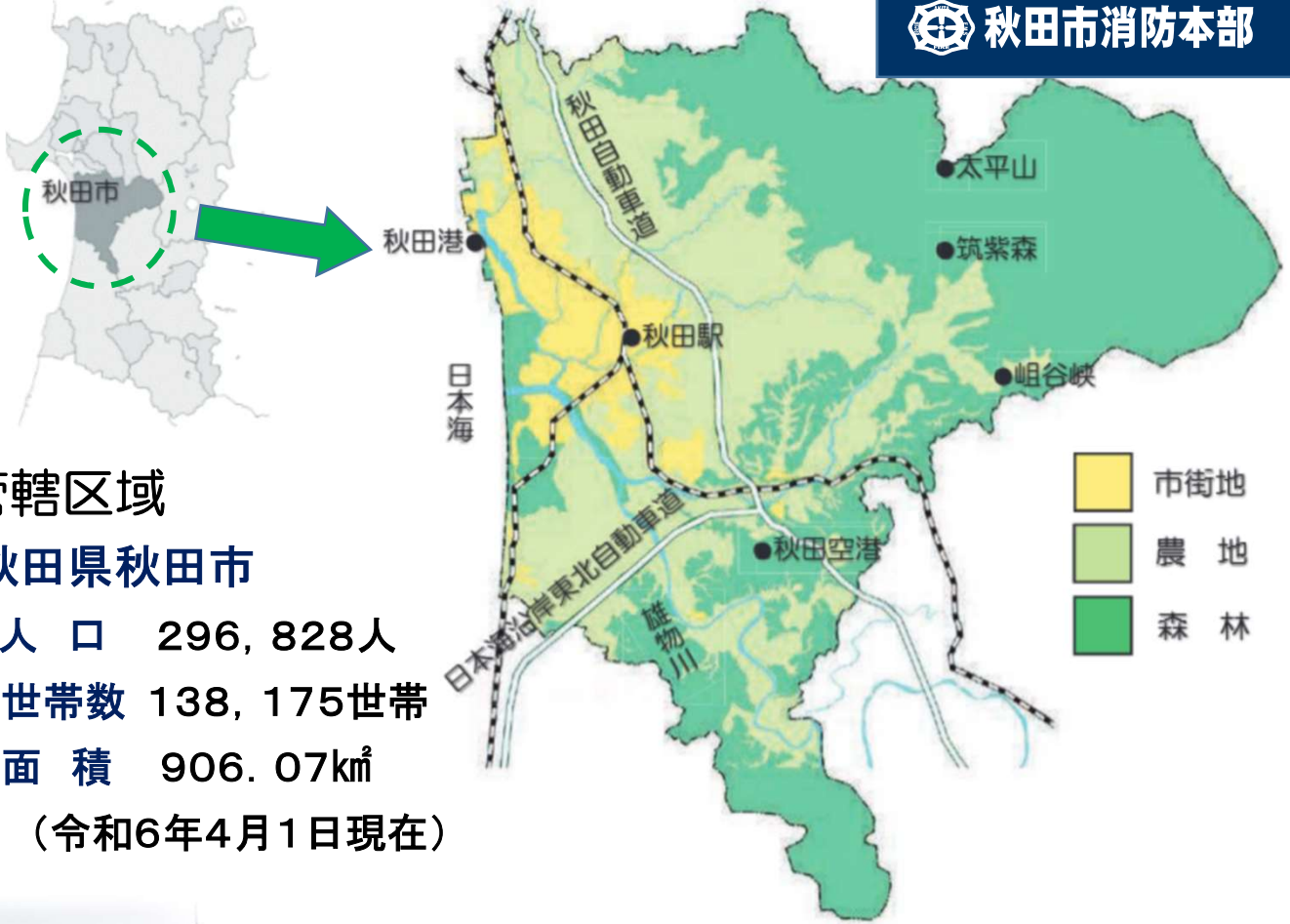
秋田市消防本部

AKIITA FIRE DEPARTMENT.

秋田市消防本部の概要

AKITA FIRE DEPT.

秋田市消防本部



管轄区域

秋田県秋田市

人口 296,828人

世帯数 138,175世帯

面積 906.07km²

(令和6年4月1日現在)



組織および活動状況

職員数 435人(うち女性消防吏員12人)

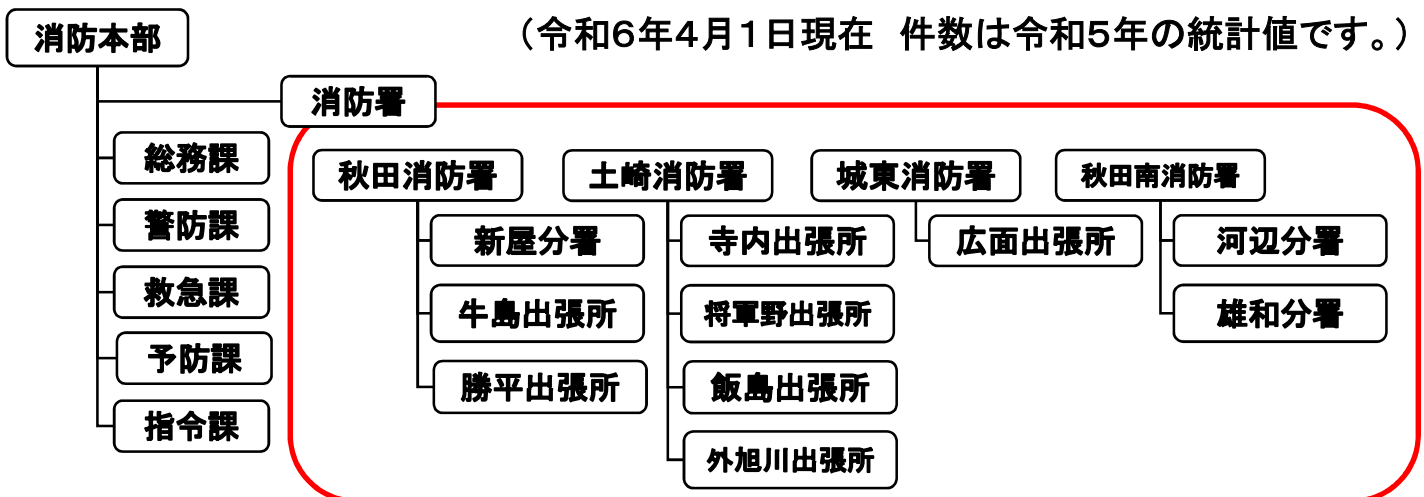
庁舎・施設 4消防署 3分署 7出張所

※消防本部と秋田消防署は同じ庁舎です。

車両台数 78台

火災件数 54件 救急出動件数 14,773件

(令和6年4月1日現在 件数は令和5年の統計値です。)



消防車両 FIRE ENGINE

秋田市消防本部では、消防ポンプ自動車や救急車などの通常災害に対応する車両から、コンテナ災害、風水害などの大規模な自然災害に対応する特殊車両など78台の消防車両を保有・運用し、あらゆる災害に備えています。

救助工作車



大型化学高所放水車

現場想定訓練



化学車



梯子車



救急車



原液搬送車



指揮車



梯子車夜間訓練



津波・大規模風水害対策車



支援車



山岳救助車



水難救助車



AKITA FIRE DEPARTMENT.

消防には様々な業務があります。
現役職員にインタビューしました。

キャリアモデル 消防隊員
消防署→消防隊



令和3年度採用 消防士

高校在学時は、進学して医療や看護の道に進むことも考えましたが、進学するよりも、早く社会に出て人のために役立つ仕事がしたい、人としてスキルアップするために時間を使いたいと考えて消防士になりました。

現在は消防隊員として災害現場で活動するほか、建築物の立入検査や防火指導を担当しています。初めのころは女性消防士イコール救急隊のイメージを持っていたのですが、消防学校を修了後、消防署に配属されていろいろな仕事を経験する中で、消防にも多種多様な任務があることに気づきました。

先輩職員も、実務を通じてわかりやすく指導してくれるので、救急以外にもいろいろな仕事にチャレンジして、幅広い知識や技術、対応力を身に付けていきたいと考えています。

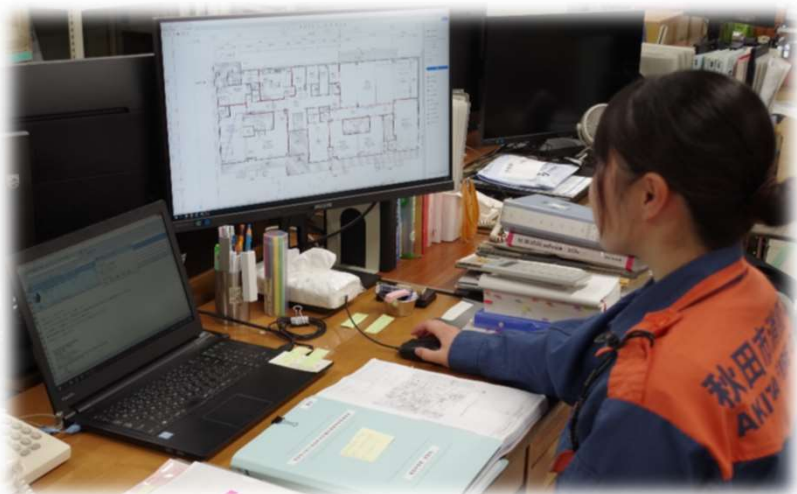
検査や訓練で市民の皆さんと接しているとき、消防車で消火栓を調査しているとき、消防署を見学に来たお子さんや親御さんとお話ししているとき、いろいろな場面で地域と繋がっていることを実感します。

消防は、秋田が好きの方、秋田の人や街を守りたいという方にお勧めできる仕事です。

秋田高校出身 部活：バスケット

趣味：食べ歩き

資格：救急隊員



AKITA FIRE DEPARTMENT.

現役職員 Interview

キャリアモデル 消防隊員
消防署→消防隊



平成31年度採用 消防副士長



高校時代の先輩が消防士で、現場活動や訓練の話聞き、やりがいのある仕事だと思い消防士になりました。

採用3年目に救助隊員の資格を取得し今年度は、山岳救助隊員の資格取得のため日々訓練に励んでいます。

秋田市消防本部には、自分の目標や意欲に応じて必要な資格を取得したり、教育訓練を受けられる仕組みがあります。訓練や現場経験を積み重ねることで、自分の能力を向上させていくことができます。

これまで現場活動や訓練を通して、いろいろなことを学んできましたが、短い期間ながらも経験を重ねてきて、周囲の状況や先輩職員の動きなど、いろいろなことに目を配り、自ら気づいて動くことができなければ消防活動はうまくいかない、危険を避けられないと感じています。

災害現場で的確な状況判断ができるよう、また、市民や同僚職員の安全を守ることができるよう、今後も知識と技術を磨き続け、消防の道を究めていきたいと考えています。

金足農業高校出身 部活：野球

趣味：サーフィン

資格：救助隊員 緊急機関員



AKITA FIRE 4 DEPARTMENT.

現役職員 Interview

キャリアモデル 予防査察員
消防署→消防隊・救助隊・救急隊→予防技術資格者



平成22年度採用 消防士長



学生時代に消防署で行われた職場説明会に参加したとき、消防業務には消火や救助、救急だけではない幅広い分野があると知り、その中で自分がやりたい仕事、やりがいをもてる役割を見つけられるのではないかと考え、消防士になりました。

消防の仕事といえば、いわゆる災害現場での活動をイメージする方がほとんどだと思いますが、予防課の仕事は、火災を未然に防ぐ、万が一発生しても被害を限定することが目的です。

建築確認申請をもとに、設計や計画の段階から、建物の防火上の安全性を確認し、実際に工事が始まると、建築現場でスプリンクラーや自動火災報知設備などの消防用設備が法令に基づいて設置されているかを検査するのが私の仕事です。

消火栓の放水圧力を測定したり、天井裏に入って警報設備を点検していると、普段は使われることのないこれらの設備が、万が一に備え、皆さんの安全を守っていることを実感できます。

一般の方はあまり意識していないかもしれませんが、市民が助けを求める状況にならないよう、平素から備え、街の安全を確保することも消防の重要な任務であることを知ってください。

秋田経法大附属高校出身 趣味：バスケット
(現 明桜高校)

資格：救助隊員 救急隊員 大型緊急機関員
予防技術資格者（防火査察・消防用設備・危険物）



キャリアモデル 調査指揮者
消防署→消防隊・救助隊→予防課→主任査察員・調査指揮者



平成11年度採用 消防司令



火災調査は、火災の原因や損害、火災発生時における関係者の行動を究明する仕事です。調査は、火災が発生したときからスタートし、現場の状況をつかみ、関係者に聞き込みし、必要な情報を集めていきます。火が消えた後は、現場の建物に立ち入って詳しい調査を行います。がれきや灰の中から証拠物件を発掘し、必要があれば鑑定や再現実験を行うこともあります。

火災は「なぜ起こったのか」
「どのように拡大したのか」
「どうして亡くなってしまったのか」

様々な側面から火災を分析し、また、現場活動に役立つ情報を集め、類似火災の再発防止とより効果的な消火戦術の研究につなげます。

火災の原因は多種多様で、電気、建築、化学、危険物などの専門知識を必要としたり、警察や研究機関と連携して調査を進めるなどアカデミックな側面もあります。ときには答えに辿り着くことが困難な現場もありますが、将来の火災を1件でも少なく、被害を小さくするため、これからも研鑽と研究を重ね、徹底した調査活動を進めていきます。

秋田南高校出身 部活：サッカー
趣味：双子の子育て
資格：救助隊員 大型緊急機関員
予防技術資格者 主任査察員
入校：消防大学校（調査科）





平成28年度採用 消防副士長



高校時代、将来の進路を考えたとき、人を助ける仕事につきたいと思い、消防の道を選びました。

現在は救急隊として勤務することが多くなりましたが、消防学校を修了して消防署に配属された頃は、消防隊としての任務はもとより、立入検査や救助技術訓練、消防職員意見発表など、いろいろな仕事を経験する機会がありました。救助訓練は体力を使うし、大勢の前で話す意見発表大会はとても緊張しましたが、応援してくれる仲間の顔や、賞をとったときに喜んでくれる先輩の顔を見て、頑張ってたかったなと思いましたが、現場活動を共にしているうち、自然とチームワークが養われていることに気がつきました。24時間勤務の消防署生活で、炊事や洗濯、清掃などの生活能力が身につくことも消防の特徴だと思います。

その後、救急隊員として経験を積み、採用から6年目に救急救命東京研修所へ6か月間派遣され、国家試験、就業前教育を経て目標だった救急救命士に任命されました。仕事にやりがいを感じるのは、患者さんの回復に立ち会うときです。以前出動した現場で心肺停止状態だった患者さんが、救急隊から医療機関へと救命のリレーが繋がり、社会復帰された事例がありました。病院実習に行ったとき、指導担当の医師にそのことを教えていただき、実際に回復した方とお会いしたとき、この仕事をしてよかった、これまでの訓練や準備が活きたんだと実感しました。

救急救命士は、市民の命をお預かりする仕事です。自分が現場で判断を誤ると、人を傷つけてしまうかもしれない…その責任の重さを忘れずに、毎日、救命士として働く限り訓練を続けていきたいと考えています。まだ、先輩に教わること、助けていただくことが多いのですが、この人がいれば大丈夫と信頼してもらえるような救急救命士を目指します。

消防には、困難を伴う現場もありますが、職場は話しやすい、相談しやすい雰囲気、皆さんが思っているよりも働きやすい環境だと思います。女性が活躍できる職場なので、将来の職業として、ぜひ消防を選択肢のひとつに入れてください。

秋田商業高校出身 部活：レスリング
趣味：ドラマ鑑賞

資格：救急隊員 緊急機関員 救急救命士



現役職員 Interview

キャリアモデル 高度救助隊員
消防隊→救助隊→水難救助隊→高度救助隊（国際消防救助隊員）



平成24年度採用 消防士長

高度救助隊（Akita Super Rescue Team）
多種多様な災害や事故に対応するため
全国の中核市に設置されている部隊
秋田市では平成19年に発足した。
人命救助に関する専門的かつ高度な
知識と技術を備えた隊員18名で編成
通称 ASRT（アサート）



以前は事務職に就いていましたが、自分の体と時間を人を助けるために使いたいと思い、消防士に転職しました。消防署に配属になり、人命救助のプロとして意識が高く、災害現場で頼りになる救助隊員の先輩の姿を追いかけて、自分も自然に救助隊員を目指すようになりました。

現在所属している高度救助隊は、火災や交通事故、山岳遭難、水難事故などのほか、化学物質・危険物・放射性物質等による事故やテロなどの特殊災害、地震や大規模風水害など、あらゆる状況への対応が求められます。各隊員が、様々な資格や経験、スキルをもつスペシャリストの集団で、現場活動や訓練で求められる活動内容も高度かつ多様で、毎日が勉強の連続です。

国際消防救助隊員として、どのような環境、条件でも要救助者に救いの手を差し伸べられるよう、現場経験と訓練を積み重ね、レスキューの知識と技術を高めていきたいと考えています。

金足農業高校出身 部活：バスケ 趣味：釣り
資格：救助隊員 大型緊急機関員 潜水士
国際消防救助隊員登録



国際消防救助隊（International Rescue Team）

海外で大規模災害が発生した際、被災国政府の要請を受けて出動する日本国政府の救助チーム
秋田市からは高度救助隊員6名が消防庁に登録され、平成27年に発生したネパール地震災害に隊員1名を派遣している。



AKITA FIRE DEPARTMENT.

キャリアモデル 水難救助隊員
 消防署→消防隊・救助隊・救急隊→適性試験→養成訓練→水難救助隊員



平成27年度採用 消防副士長

水難救助隊

日本海中部沖地震での津波被害を契機として昭和60年に発隊 令和6年4月現在、潜水士や小型船舶操縦士の資格を有する32名で編成



港湾、大小河川、海水浴場など、管轄区域に多種多様な水面が存在する秋田市では、水難救助事故の形態も様々で、季節も海水浴シーズンから厳冬期まであらゆるロケーションでの活動が求められます。近年は、ゲリラ豪雨や河川氾濫などの自然災害や急流域での事象も多く、水難救助隊は、水に関する災害や事故に広く対応しています。

陸上の救助活動も危険を伴いますが、水中ではわずかなミスや装備の不具合が命の危険に直結します。夜間や深度のある水域では無視界で活動することも多く、周囲の隊員の動きを索一本で感じ取ることができるようになるまで訓練しています。実践的な訓練を重ねることで、常に冷静さを失わないメンタルとバディへの信頼感が養われます。

水難救助隊は、救助隊員として対応力の引き出しを増やしてくれる部隊なので、レスキューに関心のある方は、ぜひチャレンジしてみてください。

秋田工業高校出身 部活：ラグビー
 趣味：バイク

資格：救助隊員 救急隊員
 大型緊急機関員 潜水士



現役職員 Interview

キャリアモデル 山岳救助隊員
消防署→消防隊・救助隊・救急隊→特別救助隊→山岳救助隊



平成11年度採用 消防司令補



山岳救助隊

厳冬期の山岳救助事案に対応するため令和2年3月に発隊
管轄消防署や県消防防災航空隊と連携して救助活動を行う。
河辺分署に山岳救助車を配備、
令和6年4月現在、22名の隊員で編成



管内に太平山系をかかえる秋田市では、年間を通じて滑落や急病、遭難等の山岳事故が発生しています。とくに厳冬・積雪期の山は、常人を寄せ付けない厳しさがあり、山岳での行動や救助技術に関するノウハウと適切な装備がなければ、要救助者を救う以前に、自分の安全を確保することも困難です。

山岳救助隊は、季節を問わず山間部での救助活動を安全・確実に展開するために創設されました。まだ歴史の浅い部隊ですが、有事に備えて定期的訓練を重ね、山岳地での救助技術や装備の研究を重ね、出動要請に備えています。

秋田中央高校出身 部活：野球
趣味：登山

資格：救助隊員 救急隊員
山岳救助隊員 大型緊急機関員
入校：消防大学校（救助科）



AKITA FIRE 10 DEPARTMENT.

現役職員 Interview

キャリアモデル ドローン操縦員
消防署→消防隊・救急隊→水難救助隊→指令課・ドローン操縦員



平成19年度採用 消防士長



指令室は、すべての119番通報を受信する消防本部の窓口です。火災や救急、交通事故など、毎日様々な通報があり、通報者から場所や状況を聴取して消防署に出勤を指令するのが任務です。災害や事故を目の当たりにした通報者は、気が動転してパニックになっていることも多く、電話で落ち着かせ、消防活動に必要な情報を聞き出し、出勤隊に提供するためには、現場経験をもとにした判断能力やコミュニケーションスキルが求められます。

ときには心肺蘇生法など応急手当の手順を電話で伝えながら、消防が到着するまで通報者を誘導することもあり、電話ひとつで様々な仕事をこなします。自分が現場に送った支援情報が迅速な対応に役立ったり、口頭指導が的確な応急手当につながったときは、指令課員としてやりがいを感じます。

また、指令課では、情報通信機器やドローンを搭載した本部指揮隊を運用していて、火災や特殊災害、大規模災害等が発生した場合は、現場に出勤して現場指揮本部の活動を支援します。とくに土砂災害や大規模構造物での事故等では、地上から現場の全体像をつかむことが困難なため、ドローンによる上空からの情報収集が有効です。ドローンの役割は年々広がり、偵察飛行に加えて、センサーによる遭難者の検索など、さらなる機能の拡張と消防活動への応用を研究しています。

指令課員は、様々なツールを駆使しながら、無線通信と情報処理の分野で現場を支援するのが仕事です。今後も、あらゆる災害、状況に的確に対応できるよう判断力を磨き、助けを求めている方や現場の隊員を支えています。

能代工業高校出身（現:能代科学技術高校）
部活：無線部・ロボット部 趣味：バイク
資格：救助隊員 救急隊員 水難救助隊員
大型緊急機関員
第一級陸上特殊無線技士
応急手当口頭指導員
無人航空機（ドローン）操縦員



AKITA FIRE 11 DEPARTMENT.

キャリアモデル 消防防災航空隊員

消防署→消防隊・救助隊・救急隊→水難救助隊→高度救助隊→消防防災航空隊



平成2年度採用 消防司令

秋田工業高校出身 部活：硬式野球部
趣味：バイク 釣り
資格：救助隊員 救急隊員
水難救助隊員 大型緊急機関員
入校：消防大学校（救助科）

秋田県消防防災航空隊

平成11年4月設立 秋田空港内に
基地があり、搭乗する救助隊員は秋田
県内の各消防本部から派遣されている。
ヘリコプターの愛称は「なまはげ」

秋田県は面積が広く、また、県域に占める森林や山間地の割合が大きく、陸上からのアクセスが困難な地域があります。

秋田県消防防災航空隊は、県全域を基地から出動30分圏内に置き、各市町村や消防本部からの要請に応え、山岳救助、水難救助、林野火災、救急搬送など、多種多様な災害や事故に出動しています。また、地震や風水害などの大規模災害が発生したときは、県域を越えて応援出動することもあり、陸上交通が遮断された場合などは、空からの救助活動や支援活動を行います。

今後もヘリコプターの機動性を活かし、秋田県民の皆様の安心・安全を空から守ってまいります。



AKITA FIRE¹² DEPARTMENT.

勤務体制

秋田市消防本部の勤務体制は、**隔日勤務**と**毎日勤務**に分けられます。
 24時間365日、市民の安全を守るため現場対応が主となる消防署に勤務する職員は「**隔日勤務**」となります。【勤務時間8時30分～翌日8時30分 8週16休制】
 また、人事や給与、消防行政全般にわたる政策的業務に対応する消防本部の職員は「**毎日勤務**」となります。【勤務時間8時30分～17時15分 土・日・祝日は休み】

消防署の一日（例）

8時30分 点検・交代

前日当番者と交代 車両の点検

8時45分 ミーティング

当日当番者の全体打合せ

9時00分 機械器具点検

積載資機材・無線機の点検

9時30分 事務処理

部隊編成 庶務・経理事務など

10時30分 警防調査・訓練指導

消火栓や管轄区域の街区調査
 防火対象物や町内会等への指導

12時00分 休憩・昼食

13時00分 点検・ミーティング

13時30分 訓練 研修

消防・救助・救急等 各部隊の訓練
 図上訓練 戦術検討など

17時30分 夕食

18時00分 事務処理

報告書・日誌等の作成
 教育訓練の企画立案など

20時00分 点検・ミーティング

事務処理 交代で入浴

22時00分 仮眠

交代で深夜勤務

6時00分 起床

6時30分 車両手入れ 事務処理

7時30分 朝食

8時30分 点検・交代

当日当番者に引継ぎ

出勤・登庁



点検・交代



ミーティング・事務処理



警防調査



訓練・研修



食事・休憩



入浴・リフレッシュ



消防署の勤務サイクル（例）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
当番		当番		当番		当番	週休	週休	当番		当番		当番		週休	週休	当番		当番		当番		週休	週休	当番		当番		当番		週休
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
週休	当番		週休	週休	当番		週休	週休	当番		当番		当番		週休	週休	当番		当番		当番		週休	週休	当番		当番		当番		

勤務条件・人事制度

【給 与】 初任給 大学卒業程度 203,563円（行政1級29号）
 高校卒業程度 171,882円（行政1級9号）

※ 職歴・学歴に応じて加算される場合があります。

基本給のほか、扶養手当、期末手当、勤勉手当、住居手当、寒冷地手当等が支給されます。

【休 暇】 年次有給休暇、療養休暇、夏期休暇、結婚休暇、出産休暇など

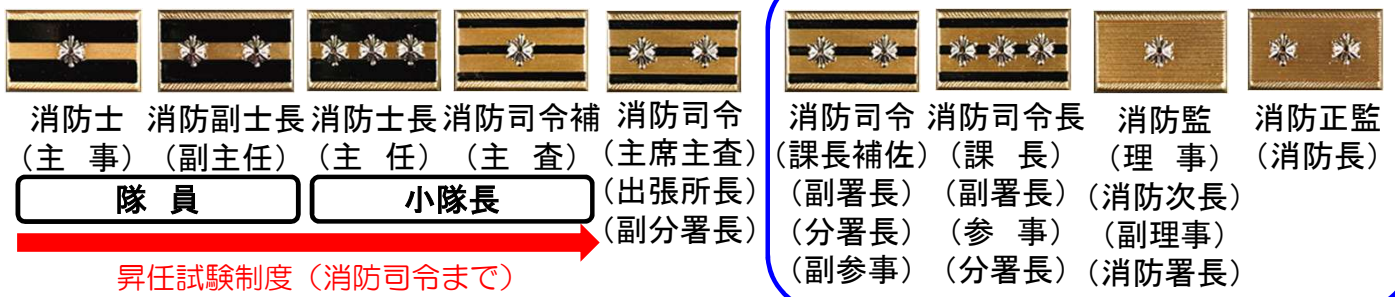
【研修制度】

消防職員としての職務遂行に必要な知識、技能等を習得するため「秋田市消防職員研修要綱」を策定して、職員の育成と能力開発を行っています。

- ・派遣研修 外部教育研修機関への派遣
 （消防大学校、秋田県消防学校、救急救命士養成所など）
- ・職場研修 消防本部や消防署での専門的な研修
 （幹部研修、救急隊員研修、予防技術資格者研修、火災調査研修など）
- ・自主研修 職員が参加・受講する研修会やセミナー等への支援協力
 （山岳遭難救助研修、JPTEC、MCLSなど）



階級・職制・昇任制度



消防士として基礎的な知識・技術を身に付けた後、職員の適性や希望、能力に応じて専門分野や管理監督職に進むなど、キャリアアップすることができます。

消防士を目指している女性の皆さんへ

秋田市消防本部では、女性が活躍できる職場づくりに取り組んでいます。
令和6年4月現在、12名の女性消防吏員が活躍しています。

◎女性専用施設の整備

消防本部庁舎（秋田消防署、指令課）、秋田消防署新屋分署、土崎消防署に女性専用施設を備えています。



専用仮眠室



専用浴室



専用洗面室

◎ライフステージに応じたサポート体制

産前産後休暇、育児休業、子の看護休暇などの休暇制度の他に、「秋田市消防本部特定事業主行動計画」や「育児休業者職場復帰支援プログラム」により、安心して仕事を続けられる環境づくりに力を入れています。

◎計画的な増員と職域の拡大

女性消防吏員を令和8年度までに15名以上に増員することを目標としています。

庁舎の整備だけでなく、消防業務の幅広い分野で女性が活躍できるよう人事・教育・装備などあらゆる面で職員のキャリア形成を支援します。

【女性職員からのメッセージ】



秋田市消防本部は、結婚、妊娠、出産、子育て、ライフステージによって様々な働き方が可能で、福利厚生やサポートも充実しています。私の場合は、出産後、双子の子育てをしながら出産前と同じように救急救命士として現場で活動をしています。

女性消防士の可能性は無限大です！

今後も更なる活躍を目指して、職員一同で女性活躍推進に取り組んでいきます。

平成26年度採用 消防士長

女性職員の声

- 現場活動以外に、事務を専門に担当することもあります。実際に働いてみると様々な業務があり面白い職業です。
- 災害現場で「女性に対応してくれて安心した、ありがとう」とお礼を言われ、やりがいを感じています。女性がいるだけで安心してくれる方もたくさんいます。
- この仕事の一番の魅力は、ひと一人を助けるために皆で協力して同じ目的に向かい、任務を遂行するところです。
- 昇任や資格取得は自分の努力次第。頑張った者が認められるやりがいのある職場です。
- 消防隊、救急隊、救助隊、やりたいと思うことは男女関係なく取り組むことができる職場です。
- 男性の職業というイメージでしたが、私たちでも困っている人を助けたい、命を救いたいという気持ちを活かします。人のために働きたい、そんな気持ちを活かせる仕事を一緒にしませんか。
- 秋田市消防本部では、女性消防職員が様々な分野でチャレンジできる環境を整えられるよう職員一同で努力しています。消防という世界にチャレンジしてみませんか。

意外に知られていない消防業務の紹介

災害活動だけではなく、各種行事など様々な取り組みを行っています。

◎規律訓練



◎消防訓練指導



◎救急ワークステーション



◎火災実験



◎救急隊員研修会



◎救命技術訓練大会



◎消防出初式



◎救命講習会



◎火災予防広報



◎消防と子どもの集い



◎インターンシップ



◎職員ガイダンス



AKITA FIRE¹⁶DEPARTMENT.

市民が**安全**と**安心**を感じられる町を目指し

秋田市消防本部は災害と**闘い**続けます



職員採用試験やインターンシップに関する情報は、
秋田市消防本部ホームページ「**職員採用案内**」で公開しています。

アクセスはこちらから

<https://www.city.akita.lg.jp/shobo/saiyo/index.html>



【問い合わせ先】

秋田市消防本部 総務課

電話:018-823-4000

E-mail : fr-saiyou@city.akita.lg.jp

ちょうどいいから 住みやすい!

~市民と広げるまちへの誇りと愛着~